

記者発表新様式

1件1枚で作成してください。

所属 (元気な島づくり課)

担当者 (青木、杉山)

<p>タイトル</p> <p>～大島の新しい特産、産業を目指して～ オリーブ植樹式を開催します</p>
<p>概要 (発表内容を簡単に記入してください)</p> <p>市では、島の活性化を目的に、遊休地や耕作放棄地を活用した事業に取り組んでいますが、その一環として、オリーブ栽培の実証実験に取り組みます。植樹式では、大島の未来を願って、大島小中学校の児童・生徒46人が苗木の植樹を行います。</p> <p>実証実験で品質の良いオリーブが収穫できれば、地域の特性を生かした付加価値の高い農作物の栽培だけでなく、新たな観光資源としても活用でき、産業の活性化、島の活性化につながるものと考えています。</p>
<p>内容 (発表内容のポイントを記入してください。別紙資料でも可能)</p> <p>日 時 / 平成25年12月10日 (火) 14:00～14:45 学校の日、5時限目の授業として開催</p> <p>場 所 / 大島小中学校横の敷地 (栽培面積 = 約2,000㎡)</p> <p>品種等 / 苗は3年もので、約100本を植樹予定 (10年で成木になります) マンザニロ (スペイン) ネバディロブランコ (スペイン) ミッション (アメリカ) ルッカ (イタリア) を各25本程度植樹</p> <p>受粉樹の「ネバディロブランコ」を風上に配置。気象状況などで異なりますが、早いものは来年5月～6月ごろに開花し、10月～11月に結実が期待できます。</p> <p>出席者 / 大島小中学校、大島地区コミュニティ運営協議会、元気な島づくり事業推進協議会、株式会社九電工オリーブ事業推進室 他を予定</p> <p>その他 / 今回の植樹は、株式会社九電工が熊本県天草市で取り組んでいるオリーブ事業をモデルとし、アドバイス等を受けています。</p> <p>オリーブ栽培は、「みかんがなる場所であれば可能」といわれるように、みかんが栽培されている「南向きの傾斜面」が適しています。また、「みかんに比べて、栽培にあまり労力がかからない。作業量は約5分の1」といわれています。かんきつ類が豊富でありながら、高齢化によって耕作者が減少し、耕作放棄地などの活用が必要とされている大島は、オリーブ栽培に適した場所と考えています。</p>
<p>本件に関する報道関係者の方のお問い合わせ先</p> <p>問い合わせ先 元気な島づくり課元気な島づくり係 (大島行政センター内) 担当 / 青木、杉山 TEL 0940 - 72 - 2211</p>